

一般質問



わたなべ たくま
渡辺 拓馬 議員

国民民主党出



質問の様子は
こちら！

小中学生の金融教育について

Q マネーリテラシーの向上への取組について伺う。

A 学習指導要領では、家庭科などを中心に「消費者として適切な意思決定ができる力の育成」、「かしい消費者の育成」が重視されています。これは、単に物を買うときの選び方を学ぶだけでなく、契約の基本やお金の使い方、ライフプランの考え方などを含む、実生活に根ざした学びです。

学校における消費者教育の推進は、そのままマネーリテラシーの基礎的な力を育てる取組と一致しており、両者は目的を共有しています。これらを単なる知識の習得にとどめず、実際の生活や人生設計と結び付けて考える教育が今求められています。

(教育長)

保護犬、保護猫について

Q 保護犬、保護猫活動を行っている個人に対して本市独自で支援を行う予定があるか伺う。

A 香川県は殺処分のワースト上位県でありますので、野良犬や野良猫のような不幸な命を増やさない取組は、行政と地域が協力して進めていく必要があります。

犬猫などによるトラブルは、中讃保健所と情報を共有し、保健所職員と本市職員が同行して犬や猫の所有者宅を訪問するなど、連携して対応にあたっています。

本市独自の支援につきましては、今後、中讃保健所と連携・協力しながら対応していくことが必要な場合も想定されますことから、県の見解も取り入れながら本市としての判断を行っていきます。

(市長)



とりかい ゆい
鳥飼 由衣 議員

政志会



質問の様子は
こちら！

熱中症対策について

Q 暑さを和らげるツールとして省エネ・節電の観点からもミストシャワーを小中学校に導入しては。

A 現在、公立小学校9校のうち6校、公立中学校3校のうち1校で既に導入しており、未導入の小学校1校にも今年度整備予定で。

各校で使用しているミストシャワーの機器等は、多くの児童生徒が二斉に使用することは難しく、省エネ・節電の効果は大きくは見込めないものと推測されますが、夏場の屋外活動や部活動等における児童生徒の熱中症対策の一助となるものと考えております。

児童生徒の安全を確保し、安心して学校生活を送れるよう、日々の熱中症対策について学校と緊密に連絡を図りながら取り組んでまいります。

(教育部長)

GIGAスクール構想について

Q タイピング検定を行えば、児童生徒の自己評価の向上や目標に向けた挑戦につながると思うが、市の見解と可能性について伺う。

A 児童生徒の自己評価の向上や目標に向けた挑戦を促すことについては、その意義を十分認識していますが、タイピング検定の実施は、今後の検討課題と考えています。

第1に、技能面だけの一面的な評価に偏ってしまう可能性を避けたこと、第2に、学校では、すべての児童生徒が自分に合った方法で学びを進められる環境づくりが求められていますので、一律の検定を実施することは、その考え方と矛盾する恐れがあります。

第3に、情報端末の入力方法は日々進化しています。タイピングはあくまで複数ある入力方法の一つであるという位置づけのもと、日々の学習活動の中で継続的に練習の機会を設け、柔軟に指導を行っていきたいと考えています。

(教育長)

質問の主な項目

- ・飼えない猫について